



校長室から

「平高 学びの作法」

校長 林田 誠一



平戸高校では、今年度2学期から「学びの共同体」の理念と方法論に基づき、生徒同士がともに聞き合い、学び合う関係性を築きながら、教科の本質を追究する授業づくりに、学校を挙げて取り組んでいます。教室の机の配置をコの字型にし、生徒同士がお互いの顔を見ながら授業に臨み、必要に応じて隣同士で分からないところを聞き合います。また、3～4人のグループを作って「ジャンプの課題」という難度の高い課題に力を合わせて取り組みます。

学びは一人では成立しません。また、教師から教えられるだけでは深い学びに至ることもできません。教室の、ともに学ぶ仲間との関係性の中でこそ、真正の学びが実現します。

「心を静かにし、隣の息づかいを感じながら、『分からないこと』をバネに、本物に迫る」。これが「平高 学びの作法」です。まず、授業に臨む姿勢として最も大切なことは心が穏やかであること。次に、隣に座っている仲間が今どのように感じているのか、分からなくて困っていないか、そのようなことを敏感に感じ取る感受性が必要です。そして、「分からないこと」は悪いことではなく、むしろ、より高みを目指すための力になることを、生徒も教師も心に刻んでおくこと。これらのことが丁寧に重ねられていけば、きっと「本物の学び」が実現すると思っています。

目指すのは、「しっとり」した教室です。私が教師としての長年の経験から皮膚感覚で感じてきたことですが、お互いを認め合い、自分を素直に表現してもよいという安心感が生まれれば、教室には「しっとり」した空気が流れます。秋の深まりとともに、平戸高校の各教室の空気が少しずつ「しっとり」となってきたことを感じる今日この頃です。

オランダ留学生来校

10月18日（火）平戸市の姉妹都市交流事業の本校の学校プログラムを行いました。オランダの高校生をはじめ、交換留学に参加する平戸市内の高校生や引率の先生が来校し、生徒とともに音楽、書道、福祉の体験授業や、剣道の体験を行いました。また、オランダの学校では生徒が掃除を行うことはないということで、掃除の体験もしました。同じ高校生ということもあり、打ち解けた様子で体験学習のなかでは歓声が上がる場面もありました。互いの文化を知る貴重な1日となりました。



ねんりんピックの補助



10月16日～17日の2日間、平戸市で行われたねんりんピックゲートボール競技の補助に本校の1年生も参加しました。全国の選手の方々は、平戸の高校生の対応に感心されていたそうです。生徒たちも、元気なねんりんピック参加選手の活躍に、大いに刺激を受けたようです。

ジョブガイダンス

10月7日（金）に、1・2年生がジョブガイダンスを行いました。今回は、18の職業別分科会を設け、生徒たちは2つの職種を選び、各分科会担当講師から話を聞きました。2名から12名の少人数で各職業についての詳しい話を聞くことができました。生徒たちは、将来の自分の姿を描きながら、熱心に話を聞いていました。



テニスボール贈呈式

今年度から、生徒たちが主体的に学ぶ授業形態である「学びの共同体」に取組み、授業の時の机の並びをコの字にし、グループ学習などもしやすいように机と椅子の脚に中古のテニスボールを装着しています。その中古テニスボールを日本電気（株）から提供していただきました。10月18日（火）に、長崎支店長様においでいただき、生徒会長の川下由之介君に目録が贈呈されました。

TV局や新聞社の方にも取材に来ていただき、川下君はインタビューにもしっかりと答えていました。



11月の主な行事



- 5日（土）慈眼祭
- 6日（日）実用英語技能検定二次（佐世保）
- 7日（月）1年校外学習（福田酒造）
- 9日（水）公務員模試（2年）
11月授業研究会
- 11日（金）人権同和学习
- 16日（水）防災避難訓練
- 17日（木）考査時間割発表
- 18日（金）心に響く人生の達人セミナー
- 20日（日）福祉大賞コンテスト（福祉系列2・3年）
- 24日（木）2学期期末考査・四者面談
（～29日（火））
- 27日（日）全商ビジネス文書実務検定
- 29日（火）容儀指導

性教育講話

10月21日（金）、性教育講話を行いました。平井産婦人科から平井雅直先生においでいただきました。生徒たちは、真剣に耳を傾けていました。

